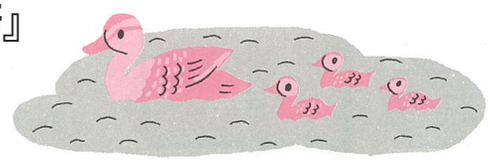
『ヨコミネ式 才能を引き出す習慣術』
第5章
ヨコミネ式男の子の育て方・女の子の育て方

もくじ

5 ヨコミネ式男の子の育て方・女の子の育て方 121

男の子と女の子は違う……122
男の子は宇宙人!? です……124
試練を乗り越えることで男の子は成長する……126
男の子の叱り方……128
ヨコミネ式レスリング……130
男の子は〝突き放す〟ことが必要……132
女の子の特徴に合った育て方を……134
お母さんがお手本になる……136
女の子の叱り方……138
コラム ヨコミネ先生に質問! ②……140



130ページ『ヨコミネ式レスリング』

5 ヨコミネ式男の子の育て方・女の子の育て方

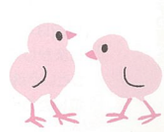
ヨコミネ式レスリング

人間関係を学ばせる大切な機会

女の子はもともと母性を持っているので、成長するにつれて、自然に周囲との人間関係を築いていきます。でも、男の子はそうではありません。やはり経験のなかでしか、〝人との関係性の築き方〟を学ぶことができません。

私が経営する保育園では5歳になると、男の子だけ上半身裸になって、とっくみあいのレスリングをさせます。ルールは単純明快で、「仰向けに転がって、両肩を床につけたほうが負け」というもの。男の子は上から押さえつけられるのが大嫌いです。見ていると、「イーッ!」とくやしそうに必死にもがいています。

レスリングのなかで、押さえつけられてもガマンすることを覚えますし、受け身も覚えます。ヨコミネ式レスリングは、心を鍛えると同時に、体を鍛えることにも役立っているのです。



ヨコミネ先生の ひと言アドバイス

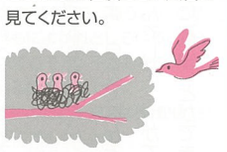
ガマン強さを覚えさせるのも大事

私が保育園でレスリングをさせるのには、体を鍛えるとともに“甘え”をとり、心を磨くということも目的としています。男の子は腹が立つと、手が出るようになってしまう。でも、レスリングで何度も何度も押さえつけられるつらさを体験して、ガマンすることを覚えさせるのです。

男の子は女の子と違って、いい聞かせるだけでは学ぶことはできません。“痛み”を伴った経験をすることで理解できるようになるのです。

痛みを知ることで、相手の痛みもわかるようになります。そのせいか、子ども同士でのいじめなどもありません。

こんなときには?

子ども同士のとっくみあい

とっくみあいのレスリングをしているせいか、私が経営する保育園では、ケンカをしている子どもを見かけません。レスリングで十分にストレスを発散しているからのようです。ケガを心配して、とっくみあいをさせることに抵抗を感じる方もいるでしょうが、人に迷惑をかけない程度なら、大目に見てください。